

令和5年度公民館運営審議会（第2回）会議録

会 議 録

会議の名称	令和5年度公民館運営審議会（第2回）		
開催日時	令和6年3月14日（木） 午前10時～午前11時30分		
開催場所	市役所4階 4-3会議室		
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座間市公民館 柳下委員、那須委員、清水委員</li> <li>・北地区文化センター 木村副委員長、赤木委員、中澤委員</li> <li>・東地区文化センター 佐々木委員長、松岡委員、飯田委員</li> </ul>		
事務局	<p>教育部生涯学習課 座間市公民館 渋谷館長 北地区文化センター 工藤館長 東地区文化センター 渡邊館長</p>		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由			
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年度の事業評価について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 座間市公民館</li> <li>(2) 北地区文化センター</li> <li>(3) 東地区文化センター</li> </ol> </li> <li>2 令和6年度開催予定について</li> <li>3 意見交換会</li> </ol>		
資料の名称	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年度第2回公民館運営審議会会議次第</li> <li>2 令和5年度座間市立公民館事業評価シート</li> </ol>		
会議の結果			
議題1	令和5年度の事業評価について 座間市公民館・北地区文化センター・東地区文化センターの事業評価について説明		
議題2	令和6年度開催予定について		

令和5年度公民館運営審議会（第2回）会議録

<p>議題3</p>	<p>第66回神奈川県公民館大会について説明 意見交換会 公民館運営審議会委員の意見交換</p>
<p>議事の詳細</p>	
<p>(議題1) 事務局 松岡委員 事務局 事務局 佐々木委員長 事務局 佐々木委員長 事務局 事務局 佐々木委員長 中澤委員 事務局 事務局 佐々木委員長 松岡委員 事務局 松岡委員 中澤委員 赤木委員</p>	<p>座間市公民館令和5年度の事業評価について説明について渋谷館長より説明。 講師は誰か。 おもちゃ病院のドクターが担当した。 北地区文化センター令和5年度の事業評価について工藤館長より説明。 講師のギター演奏の方はプロの方か 役者で本の読み聞かせなどもしている。 (講師は)市内在住の方か。 はい。 東地区文化センター令和5年度の事業評価について渡邊館長より説明。 市役所に展示したのは参加者にとって励みになったのでは。アピールすることは次年度の参加者の意欲向上につながる。 参加者の方は彫刻刀を事前に持っていた。 ほとんどの方が持っていました。 資料「令和4年度座間市立公民館事業評価シート」を基に令和4年度東地区文化センター評価事業について説明。 若い世代の参加をいかに増やしていくかが今後の課題である。今回東地区文化センターが行った事業は若い母親へ手を差し伸べる事業として有意義であった。今後は若い男性を参加させる事業を考えてもらいたい。 (参加者は)女性がほとんどだった。 男性の受講生を増やしていくのが今後の課題。 (講師役の)きつつき版画倶楽部の会員は逆に女性が少なく男性が多い。 男性が多いサークルは貴重である。 (版画の)デザインは？</p>

令和5年度公民館運営審議会（第2回）会議録

事務局	講師のきつつき版画倶楽部がいくつかのデザイン案を用意し、その中から受講生が選んだ。
木村副委員長 (議題2)	募集方法に工夫が必要である。
事務局 (議題3)	第66回神奈川県公民館大会は令和7年1月頃、寒川町で開催予定。詳細について決まり次第各委員に周知すると説明した。
赤木委員	意見交換会 文化祭について確認したい。
事務局	北地区文化センターは当初の工事内容から変更になり工事期間中は全館閉館となる。休館中事務室は代替として座間市公民館になる。これに伴い来年度開催の事業は工事の始まる前に前倒しで行う予定。 文化祭は事務局としては令和6年度令和7年度は開催困難と考えるが実行員会の判断次第。
赤木委員	公民館まつりの予定は。
事務局	例年通り行いたい。 東地区文化センターの文化祭については、令和6年度は閉館中の為行わない。
佐々木委員長	東地区文化センターは閉館中であり、座間市公民館・北地区文化センターからの場所の提供はありがたい。3館の共助の成果といえる。あとは所属している各サークルについても可能な限り利用できるようにしていただきたい。
松岡委員	(館が休館のため)活動ができずに休止中のサークルもある。消滅しないように工夫が必要である。 サークルによっては東原コミセンなどを利用している。そのほかには地区公民館、自治会館などを利用している。
佐々木委員長	休館のため活動ができない代わりに飲み会などを開催している人もいる。思わぬ副産物であるが、良い事だと思う。

# 令和5年度 座間市公民館事業評価シート

公民館名	座間市公民館
区画	渋谷

事業名	夏休みクラフトスクール 「虫ゴムカー」	事業担当 職員数	1	予算額	10	千円
				実施額	10	

## 1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(5) 未来を築く児童生徒、若者に対する居場所の確保や学びの場の提供
基本施策	①児童生徒、若者に対する支援の充実

## 2. 事業の概要

対象(性別・学年)	小学生	期 日	令和5年7月29日(土) 10時~正午	定員	20人
目的(対象者がどのような状態になることを目指しますか)					
小学生を対象とした夏休み宿題応援講座を開催することで、市内の小学生に公民館の存在意義をアピールし、おもちゃドクターの会の指導で科学的な工作を行うことで科学に興味を持ち、親子で共に作業することで有意義な体験をすることを目的とする。					
内容(目的を達成するために何をを行いますか)					
広報さま(6月15日号)座間市HPに掲載、ちらし・ポスター作成、おもちゃドクターと詳細など打合せ					

## 3. 事業の実績

項目	目標値	実績値			備考
		前々年度	前年度	今年度	
① 回数の回数	1回	0回	1回	1回	前々回はコロナ禍で中止
② 参加者数(定員)	1回		100%	150%	定員20組 (応募30組)
③ 内容の満足度(定員)	1回	-	80%	105%	定員20組 受講21組

アンケート結果による受講者の感想等(原文まま)

・むずかしかったけど楽しかったのでも良かった。今日ではありがとうございます。想像以上に楽しかったようで、来て良かったです。親切に教えていただきわかりやすかったです。説明の文にふりがながあるとよかったですと思います。(漢字がわからない時があったため)

・虫ゴムカーゴムだから、ゴムでうごかすかと思った。とてもすばらしい車が私と娘の手でつくれるなんて感じきました。楽しい時間と車をありがとうございました。

・作るのが好きだから、楽しかった。タイヤを作るのが難しかった。コードを付けるのが大変だった。

・子どもには少しむずかしかったようですが、出来上がり後は楽しそうです。

・少し難しいことにチャレンジしたり、考えたり、細かい作業を試みたり...普段時間をかけてあげられないので親子共にとっても良い経験となりました。また、是非チャレンジしてみたいです。ありがとうございました。 ていねいにおしえてくれてありがとうございます。

・つくってたのしかった。

・毎日楽しみにしていたこともあり、とても満足していた様子でした(3年女子)。また工作教室に参加したいと言っていました。モーターを使った工作がとても気に入ったようです。

・おもしろかったから、またつくりたい。

・ペットボトルのフタの厚みが熱い飲み物、冷たい飲み物で違うことなども教えてもらい、参考になりました。レバーだけで動かせるのは本物っぽくてよかった。

・予約したのに登録されていなくて、「当日急に参加してきた」と言われて少し驚きました。ご対応いただきありがとうございます。

・家にあるペットボトルのふたがタイヤになるのが面白かったです。簡単な作業でラジコンが出来上がり感動です。

・つなぐのをむずかしかった。

・とても楽しかったと満足そうな顔をしていました。ありがとうございました。

・電池を使用したおもちゃは私(母)も作り方が分からなかったの、今日参加して、子どもと一緒に作れてよかった。家でも作ってみようと思う。ありがとうございました。

・子供がとても集中して楽しく出来て良かったです。夏休みの宿題にいかしてがんばります。

・虫ゴムカーのしゅるいがいっぱいあることをしたり、でんちはいろいろなことにつかえるということをした。

・親子で工作することが普段なかったので、とても楽しく過ごせました。これからこのような場があれば参加したいです。

・むずかしかったけどたのしかった。ラジコンみたいに動いておもしろかった。1つのことに集中して取り組んでいる娘の姿を見ることはとても有意義でした。また参加したいです。

・おもしろかった。

・たのしかった。

・いっぱいあそびすぎてでんちが切れないかめちゃくちゃ心ばいです。

#### 4. 事業の評価

##### (1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes 5 ←	→ 3 No	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		コロナ禍を体験した小学生親子にとって、アフターコロナの夏休みは特に家庭での教育力・体験力の重要性が増している。この時期に行う学習支援事業はニーズがあり、定員の倍の応募もあり公民館事業として必要であると思われる。
	②市民のニーズに応えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがいないか	<input checked="" type="radio"/>		
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができているか	<input checked="" type="radio"/>		材料費(¥350)キットは講師が秋葉原の電気街や100円ショップなどでリーズナブルに調達して原価で販売 講師料(¥10,000)講座時間は適切である。
	②事業費や所要時間は適切であるか	<input checked="" type="radio"/>		
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	<input checked="" type="radio"/>		募集対象者は「小学生」であり、特定の団体個人には偏っていない。生涯学習プラン「(5)未来を築く児童生徒、若者に対する居場所の確保や学びの場の推進」に基づき開催。材料費¥350の受益者負担は妥当であると考えます。
	②市民の理解を得られる事業であるか	<input checked="" type="radio"/>		
	③受益者負担は今のままで良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある    3⇒概ね適切・妥当、    1⇒不適切・できない・ない		

##### (2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes 5 ←	→ 3 No	
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	<input checked="" type="radio"/>		
	②市民のニーズに応えているか	<input checked="" type="radio"/>		
	③公民館の事業としてふさわしいか	<input checked="" type="radio"/>		
	④事業の参加者に偏りがいないか	<input checked="" type="radio"/>		
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	<input checked="" type="radio"/>		
	②講師は事業内容にあっていたか	<input checked="" type="radio"/>		
	③参考資料・材料などが適切であったか	<input checked="" type="radio"/>		
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	<input checked="" type="radio"/>		
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	<input checked="" type="radio"/>		
	②出席率は良かったか	<input checked="" type="radio"/>		
	③事業の目的が達成されたか	<input checked="" type="radio"/>		
	④この事業内容は見直さなくて良いか	<input checked="" type="radio"/>		
評価	4    5⇒適切、よい    3⇒概ね適切、妥当    1⇒わるい			

##### (3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果 = A	A⇒このまま継続して良い    B⇒一部見直しをする    C⇒大幅に見直しをする
コメント	
<p>・親子で製作に取り組むことができたこと、子供たちがモノづくりの感動を得られたようでよかったと思う。</p> <p>・講師の方々の説明が丁寧で、参加者達も頑張って製作に取り組み、完成後の感動はひとしおだったようだ。</p>	

1) 評価の観点を《良い》とされることを仮定して項目を設ける(内容は検討)

(別紙)

①公民館運営審議会委員【必要性・有効性】評価の理由

- ・小学校3年生を中心に低学年が多く、ほどよく学年がばらついていた。
- ・小学生と親の共同作業により、モノづくりに興味を持つことができよかったと思う。
- ・夏休みの宿題応援講座ということで、小学生をもつ親ならとても興味をひかれる講座だと思う。

②公民館運営審議会委員【企画内容】評価の理由

- ・講師が7人で分かりやすく説明し、また、個別に指導もしていた。(子供3人に講師1人の割合)
- ・アンケート結果では、先生の説明がとても分かりやすかったと答えた人が9割近くに上っていた。
- ・参加した子供達は、モノ作り体験をして”出来た”という自信が持てたと思う。
- ・最初に講師の説明を聞いた時は難しい製作と思ったが、講師の方々がよく説明・見回りをして、子供達も一生懸命に取り組んでいるのが印象に残った。

③公民館運営審議会委員【事業成果】評価の理由

- ・モーターを使うので、少し難しい工程であったが、完成した時は親子共に充実感があつたようだ。
- ・製作が進むにつれ、子供達もより興味を持ち、夢中で製作に取り組んでいた。
- ・親子が協力して完成させ、完成品を嬉しそうに動かしていた。
- ・難しいからやらないではなく、なんとかやり切る事の大切さを知った。

④公民館運営審議会委員【評価結果】意見

- ・参加者達の感想は、「難しいけど楽しかった。またやりたい。」とのことだったので、今回の講座は十分に満足してもらえたと思う。
- ・「子供が一つのことに集中し、親子で一緒に共同作業できたのは有意義だった。」と参加された親達から聞いた。
- ・完成後の子供達の笑顔が印象に残っている。
- ・公民館が地域の中で役立っていると思った。
- ・来年もこの様な親子で参加できる講座に期待する。

# 令和5年度 座間市公民館事業評価シート

公民館名	実施者
北地区文化センター	工藤

事業名	うたって♪あそぼ	事業担当 職員数	2人	予算額	20	千円
				実施額	20	

## 1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(4)豊かな心を育む家庭教育の推進
基本施策	①家庭教育関連事業の充実

## 2. 事業の概要

対象(性別・何回)	期 日	定員
親子(乳幼児とその親)	年間(全9回)／事業評価時は第8回(2月7日実施分)	10組20人程度
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)		
親子で朗読や歌を楽しみながら情緒を育む		
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか)		
ギターの生演奏に合わせて童謡を中心に親子で歌い、読み聞かせを通じて本に親しむ機会を提供する		

## 3. 事業の実績

活動指標	目標値	実績			備考
		前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	9回	6回	9回	8回※	※2/7実施分までを算定
② 参加者(〇) (△)見学者	90人	39人	62人	69人	
③ 回ごとの出席率(〇) (△)見学者/出席者数					

アンケート結果による受講者の感想等

- 大きな歌詞カードを用意してくれているので、見やすく歌いやすかった
- ギターの生演奏で歌うことが出来て楽しかった
- 自分が子どもの頃に歌った曲があり懐かしかった
- 子どもが自然に体を揺らしている姿を見て、子どもと一緒に楽しんでいる様子だった
- 和室での開催なので、子どもも畳でハイハイしながら参加でき、嬉しかった

#### 4. 事業の評価

##### (1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価 Yes ← 5 3 1 → No	コメント
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	⊙	乳幼児の情緒の育みを事業の主目的としているが、これに加え、音楽の力による癒しや、親同士の交流といった、様々な要素の相乗効果を狙い、事業を開催した。
	②市民のニーズに応えているか	⊙	
	③公民館の事業としてふさわしいか	⊙	
	④事業の参加者に偏りがいないか	⊙	
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか	⊙	効率を考えるのであればラジカセで音楽を流す手法もあるが、音の繊細さが如実に現れるギターの生演奏を体験して貰い、こころの緊張緩和など、参加者の気持ちの変化も期待し、事業を構成した。
	②事業費や所要時間は適切であるか	⊙	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	⊙	多くの人が気軽に参加できるよう、環境を整えた中で開催することができた。
	②市民の理解を得られる事業であるか	⊙	
	③受益者負担は今のままで良いか	⊙	
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切・できない・ない	

##### (2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価 Yes ← 5 3 1 → No	理由
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	⊙	・母と子で出かける場所があることは、とても良い ・乳幼児だけでなく、2、3歳児がもう少しいれば事業が盛り上がると思う
	②市民のニーズに応えているか	⊙	
	③公民館の事業としてふさわしいか	⊙	
	④事業の参加者に偏りがいないか	⊙	
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	⊙	・参加する子どもたちの年齢に合わせて内容、教材を変えるといった工夫が良い ・季節に合った歌を選択している
	②講師は事業内容にあっていたか	⊙	
	③参考資料・材料などが適切であったか	⊙	
	④継続事業において運営が工夫改善されているか	⊙	
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	⊙	・PR方法に工夫の余地あり
	②出席率は良かったか	⊙	
	③事業の目的が達成されたか	⊙	
	④この事業内容は見直さなくて良いか	⊙	
評価点は数直線上に○を付す (1⇒わるい 3⇒概ね適切、妥当 4、5⇒適切、よい)			

##### (3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果:	Ⓐ⇒このまま継続して良い B⇒一部見直しをする C⇒大幅に見直しをする
コメント	目標値[5組(10人)／回]を達成するため、PRの方法をもう少し工夫すれば参加者も集まると思います(LINEの活用など)



# 令和 5 年度 座間市立公民館事業評価シート

公民館名	記入者
東地区文化センター	渡邊

事業名	令和5年度市民版画体験教室 彫ってみましょう木版画	事業担当 職員数	1	予算額	20	千円
				実施額	20	

## 1.生涯学習プランの位置づけ

基本方針	(2)地域に根差した生涯学習の推進
基本施策	③市民の文化芸術活動への支援を通じた個性豊かな文化芸術の創造

## 2. 事業の概要

対象(誰を・何を)	市内在住・在勤者	期間	11月5日・12日・26日	定員	10人
目的(対象者がどのようになることを目指しますか)					
木版画の基礎を学び、年賀状作品を自ら作り上げることを目指す。					
内容(事業の目的を達成するため何を行いますか) ※プログラム構成の内容					
講師(きつつき版画倶楽部)が作成したテキストを中心に、教材である木を彫り進め、オリジナル年賀状を作成する。最終回では摺り上げる。					

## 3. 事業の実績

活動指標	実績値			備考
	前々年度	前年度	今年度	
① 講座等の回数	3	3	3	
② 応募率(%) (定員/申込者数)	100	100	100	
③ 回ごとの出席率(%) (受講者数/出席者数)	91	100	81	
アンケート結果による受講者の感想等				
費用(500円) 適当45% 安かった55% 教材の内容 満足100% 講師の説明方法と内容、進行テンポは? 満足100% 今後、年賀状以外の木版画講座があれば 参加したい64% 年賀状だけ参加したい36%  (感想) ・年賀状楽しみです。 ・ありがとうございました。楽しかったです!! ・数年年賀状木版参加させて頂いております。以後も続けさせて頂きたいです。よろしくお願ひします。 ・毎回丁寧にご指導頂きありがとうございます。作品は今一つなのですが楽しく参加させて頂いております。 ・男性を多く入れて欲しい。				

4. 事業の評価

(1) 内部評価 (担当館)

評価	評価の観点	評価		コメント
		Yes ← 5 3 1 → No		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	5	1	例年開催されている事業で、非常に人気のある講座である。年賀状を自分で作るというコンセプトは、受講生の創造意欲を掻き立て、意義があると思う一方で参加者が固定化されているのが懸念される。
	②市民のニーズに応えているか	5	1	
	③公民館の事業としてふさわしいか	5	1	
	④事業の参加者に偏りがいないか	5	1	
効率性	①成果を低下させず、コストを削減することができるか	5	1	館へ登録された団体との協働事業で唯一の版画サークルであるため代替は不可能であるが、今後この事業を参考にして、他の体験講座を開催したい。
	②さらに事業費や所要時間を縮減する手段・方策があるか	5	1	
	③他に類似する事業があるが、整理統合ができるか	5	1	
公平性	①本事業による利益が特定の団体や個人に偏っていないか	5	1	受講生には材料費の負担をお願いしている。年賀状作成を通じて版画を体験することは有意義であると考え。参加者に初体験者をもう少し増やしていきたい。
	②市民の理解を得られる事業であるか	5	1	
	③受益者負担は今のままで良いか	5	1	
評価区分(評価点)		5⇒適切・できる・ある 3⇒概ね適切・妥当、 1⇒不適切。		

(2) 公民館運営審議会委員の評価

項目	評価の観点	評価		理由
		Yes ← 5 3 1 → No		
必要性・有効性	①この事業は現在の社会情勢に合っているか	5	1	別紙
	②市民のニーズに応えているか	5	1	
	③公民館の事業としてふさわしいか	5	1	
	④事業の参加者に偏りがいないか	5	1	
企画内容	①参加者が関心を持って参加していたか	5	1	別紙
	②講師は事業内容に合っていたか	5	1	
	③参考資料・材料などが適切であったか	5	1	
	④継続事業において運営が工夫改善されている	5	1	
事業成果	①参加者は十分な成果をえたか	5	1	別紙
	②出席率は良かったか	5	1	
	③事業の目的が達成されたか	5	1	
	④この事業内容は見直さなくて良いか	5	1	
評価	5⇒適切、よい 3⇒概ね適切、妥当 1⇒わるい			

(3) 公民館運営審議会委員の意見

評価結果 = A	A⇒このまま継続して良い	B⇒一部見直しをする	C⇒大幅に見直しをする
コメント			
別紙			

## (2) 公民館運営審議会委員の評価

### ①必要性・有効性

○我が国に特有なコミュニケーションツールとしての年賀状づくり＝木版画づくりは館の事業の中でも最も古い30年以上の歴史を持つ事業であり、市民の人気も高い。講師陣はきつつき版画倶楽部という団体であるが、市民にこの事業への参加を呼びかけていることも興味深い。

○毎年恒例となっている事業で年賀状という伝統文化に触れる内容で公民館の事業としてもふさわしいと思う。

○木版画年賀状の講座は毎年参加している人もいてとても人気の講座で市民のニーズに応えていると思う。

### ②企画内容

○参加者は版画作りに熱心で講師への質問も多い。講師による個別指導も効果的である。1版画か3版画か、色の調整から彫刻刀の使い方など実務に結びつく個別指導も効果的に感じた。参加者は10名ほどだが圧倒的に女性が多く、男性への呼びかけがあってもよいのではないかと？

○干支の(たつ)は線が細く絵柄を選ぶのに時間がかかっていた。講師の方々も一人一人の相談に丁寧に対応されていた。

○主催者の方が話していたが版画の素材集のいいものがあったら参加者も作りたくなるものが選択できることは満足感につながるのではと思う。

### ③事業評価

○できあがった作品の出来不出来は別にしても参加者の満足度は高いと感じた。年賀状作成時期にあわせての開催もよいタイミングだと思う。

○彫りの時、木版画は木がもろく残したい所をカットしてしまう等むずかしそうだったが刷りに入って年賀状が出来上がって来るとみなさん楽しそうだった。

○参加者が毎回多く、意欲的に取り組んでいる様子を見ても事業の目的は達成しているのでは、と思う。

## (3) 公民館運営審議会委員の意見

○3回全て参加することができなかったが初日の参加者の様子を見ても意欲的に取り組んでいたため今後も恒例事業について継続していかれたらと思う。

○何よりも「きつつき版画倶楽部」講師陣による個別指導が参加者に受け入れられていることがこの事業の継続性を物語っている。出来上がった作品を館の意向により、市役所に展示するなどの企画がなされており、市民へのアピールによって、次年度以降の参加者増強が期待されるという心強い取り組みもサークルと館との連携という意味でも大切であると感じた。

○手作りの木版画年賀状作りの講座は、毎年楽しみに参加されている人がいて、版画倶楽部のテキストも木版画の楽しさから年賀状の制作、手順まで丁寧にまとめられていて、倶楽部の方達の

指導、協力があつての継続講座だと思う。今年度は年賀状の作品展を市役所一階アトリウムにて開催。公民館での活動を市民の方々に見ていただく機会はとても良い事だと思う。